

第3回滑り軸受－巻きブシュ JIS 原案策定作業委員会議事録

(日本機械学会：滑り軸受－巻きブシュ JIS 策定分科会)

年月日 : 2008 年 3 月 18 (金)
時間 : 13 : 00～17:00
場所 : 機械振興会館 6F・69
出席者 : JIS 原案策定作業委員会 委員 (兼 JIS 原案策定委員会委員)
染谷委員長、三原 (武蔵工業大学)、花房 (三矢精工)、桜井 (三協オイルレス工業)、田中 (折橋製作所)、田所 (千住金属)、花橋 (大同メタル工業)、林、三和 (オイルレス工業)
日本規格協会 山田様 (JIS 原案策定委員会委員)
記録 : 三和

<配布資料>

- ①第3回 滑り軸受－巻きブシュ JIS 原案作成分科会 議案
- ②第2回 滑り軸受－巻きブシュ JIS 原案作成分科会議事録
- ③日本規格協会 山田様からの回答

<回覧資料>

特になし

<議事>

1. 前回議事録の確認

内容を確認し、委員会で承認された。

2. JIS 原案作成作業

今回開催した分科会は、ISO 3547 Part1～Part 4 の JIS 化の進捗内容について順を追って確認した。

主な確認事項と今後注意すべき点は以下の通り。

- ・ JIS 化における作成方法や様式は JIS Z 8301 (規格表の様式及び作成方法) に従う。
- ・ 段落の設定、書式、字下げ等は、日本規格協会 山田様にご助言頂きながら各パートで統一する。
- ・ JIS 規格は対応する国際規格 (ISO 3547-1～4) に対して国際一致規格 (IDT、完全一致) か対応国際規格 (MOD、部分一致、内容的な変更に限る) とするのか、軸受ユーザー (本委員会メンバー) と十分に審議し決定する。
- ・ 各パートの表中の語彙は統一する。
- ・ 軸受材料の表記は軸受材に限らず現存する JIS 規格と照合し定める。
- ・ 参考とする JIS 規格は原則として作業委員メンバーのみの閲覧とし、取扱いには十分注意すること。
- ・ JIS 化作業は、必ず JIS テンプレートを起動し、そこから各パート文書を開いて作業すること。

下記に Part1 を例とし詳細内容を示す。

①目次

目次の箇条は、箇条 2 まで記載する。

例 5.寸法

5.1 外径寸法

②まえがき

テンプレートを起動し自動生成後に、下記内容を修正すること。

- ・ 原案作成団体名(団体略称) ⇒ 社団法人日本機械学会(JSME)及び財団法人日本規格協会(JSA)へ変更

- ・主務大臣名 ⇒経済産業大臣へ変更
- ・この規格は、工業標準化法第12条第1項の規定に基づき、原案作成団体名(団体略称)から団体規格(団体規格番号:0000)を基に作成した工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、
日本工業標準調査会の審議を経て、主務大臣名大臣が制定した日本工業規格である。
⇒ 削除

③タイトル

滑り軸受-巻きブッシュ Part1:寸法 ⇒滑り軸受-巻きブッシュ 第一部:寸法へ変更

④序文

- ・2006年に第1版として発行されたISO 3547-1:2006, ISO 3547-1:Plain bearings – Wrapped bushes – Part1:Dimensionsを基に
⇒ 2006年に第2版として発行されたISO 3547-1を基にへ変更
IDTとするかMODとするか、十分に審議すること。MODの場合は、上記と言い回しが異なるため注意が必要。

- ・ISO3547 Part1は、円筒及び/又は鍔付きの巻きブッシュに関する寸法と名称について規定する。
⇒ この規格は、円筒及び/又は鍔付きの巻きブッシュに関する寸法と名称について規定する。
へ変更

⑤引用規格

引用規格の本文は原文のまま使用する。

引用規格は、JIS規格を明記(アルファベット順)する。対応するISO規格はJIS規格の下に明記する。

変更点を下記に記す。

ISO 3547-2:Plain bearings – Wrapped bushes – Part 2: Test data for outside and inside diameters

ISO 3547-4:Plain bearings – Wrapped bushes – Part 4: Materials

ISO 4378-1:Plain bearings – Terms, definitions and classification – Part 1: Design, bearing materials and their properties

ISO 12301:Plain bearings – Quality control techniques and inspection of geometrical and material quality characteristics

ISO 13715:Technical drawings – Edges of undefined shape – Vocabulary and indication

上記を、下記の通りに変更した。尚、ISO 3547-1~4は、JIS化作業中であるが、引用規格には下記のように記載する。また、JIS番号で3547が空いている場合は、ISOとの統一の意味から同番号を取得したい意向をMETIに申告する。

JIS B xxxx-2 滑り軸受-巻きブッシュ-第2部:外径寸法及び内径寸法の測定方法

注記 対応国際規格: ISO 3547-2:Plain bearings – Wrapped bushes – Part 2: Test data for outside and inside diameters(IDT or MOD)

JIS B xxxx-4 滑り軸受-巻きブッシュ-第4部:材料

注記 対応国際規格: ISO 3547-4:Plain bearings – Wrapped bushes – Part 4: Materials(IDT or MOD)

JIS B 0162-1:滑り軸受-用語、定義及び分類-第1部:設計、軸受材料及びその特性

注記 対応国際規格: ISO 4378-1:Plain bearings – Terms, definitions and classification – Part1: Design, bearing materials and their properties(MOD)

ISO 12301:Plain bearings – Quality control techniques and inspection of geometrical and material quality characteristics

ISO 13715:Technical drawings—Edges of undefined shape—Vocabulary and indication (ISO12301 及び ISO13715 に対応する JIS がないかよく調査のこと)

⑥用語及び定義

- この規格で用いる主な用語及び定義は、JIS X xxxx:0000 によるほか、次による。
ISO3547 Part1 に使用される用語は、ISO 4378-1 に定義されている用語を適用する。
⇒この規格で用いる主な用語及び定義は、JIS B 0162-1 (-1 のみでよいか、-2 も入れるか要確認) による。へ変更
他に定義すべき項目があれば、箇条を続けて定義する。

⑦記号及び単位

以降、各パートで内容が異なるため、基本的な注意点を下記に示す。

- 箇条について
箇条 1 の場合は、タイトルから箇条 1 を選択し記載する。
箇条 2 の場合は、タイトルから箇条 2 を選択し記載する。
- 表題について
表のタイトルは中央に表示する (≪タイトル≫表題を選択する)。
表の文字は日本語を使用。
例を示す。

表 1—記号及び単位

表 1 は太字、－は全角のマイナス、記号及び単位は太字。表題は中央揃え。

また、表中の記号は避け、直接数字を入力する。

- 図について
図は三角法を用いる。
図のタイトルは日本語表記。
図中の注釈は、注記寸法で記載する。
- 数式について
数式は数式エディタを使用する。
- Designation
日本語訳は、呼称が望ましい。
Bush ISO 3547 — C30 A 34 ·20 — S5 — M1A N1B — AS などの材料明記方法は、要議論。
- 参考文献
参考文献のタイトルには番号をつけず、中央揃えで記載する。下記に例を記す。

参考文献

6. その他

テンプレートの使用方法、文字の記載の仕方、様式等について質問事項があれば、日本規格協会 山田様に相談する。

各グループともメンバー間で協力して仕上げていく。

ISO 規格に以下の 2 点の誤りがあることを確認した。

①ISO3547-2 の表 1 中の Fch 欄の単位mmはNの誤り。

② ？（ご存知の方おられますか？）

7. 次回開催日

- ・第4回滑り軸受－巻きブシュ－JIS 原案策定委員会：4月21日（月）13:00～17:00 まで
日本機械学会 第三、第四会議室
- ・第2回滑り軸受－巻きブシュ－JIS 原案本委員会：2008年6月あるいは7月頃開催予定